＜令和８年度 更新・継続＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体				
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
	○			
取組名称	中小企業版SBT（Science Based Targets）イニシアチブの認証取得			
取組の区分・状況	継続（前回報告から更新）			
取組開始時期	・2021年～数値把握、目標設定 ・中小企業版SBT認証（2023年）			
前回からの変更・進展	継続的に活動中			
現在の取組内容	・中小企業版SBTの認定を取得し、自社の温室効果ガス排出量（Scope 1・Scope 2）を把握したうえで、2030年までに42%削減する目標を設定している。 ・毎年カーボントレースにより目標の達成状況を確認し、削減に向けた各種取り組みを推進している。 ※2022年～2025年までは目標達成している。			
経　費	・SBT認証登録費　USD 1,000＄（当時） ・外部委託費（目標設定、手続き支援、取り組みの評価やアドバイザー費）　非公開　円			
効果・成果	・温室効果ガスの排出削減目標を明確にすることで、継続的な削減対策の検討・実施につなげている。 ・社員の意識向上を図る。 ・会社のブランディング力強化を図る。			
課　題	自社活動の増加（工事受注の拡大）などがあった場合に目標達成が出来るか			
今後の予定・展開	2030年まで継続して目標を達成し、地球温暖化軽減に貢献する。			
備考・コメント				

写真1	SCIENCE BASED TARGETS DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

写真2	2025 年度 マーケット基準 ロケーション基準 Scope1 221.12 t-CO2 Scope2 21.49 t-CO2 合計 242.60 t-CO2 経年変化 Scope別 排出量 (2025年度) 排出量 対前年度削減率
写真3	
写真4	